

あゆみ

TAKE FREE /

ご自由にお持ち帰り
下さい



独立行政法人地域医療機能推進機構

二本松病院

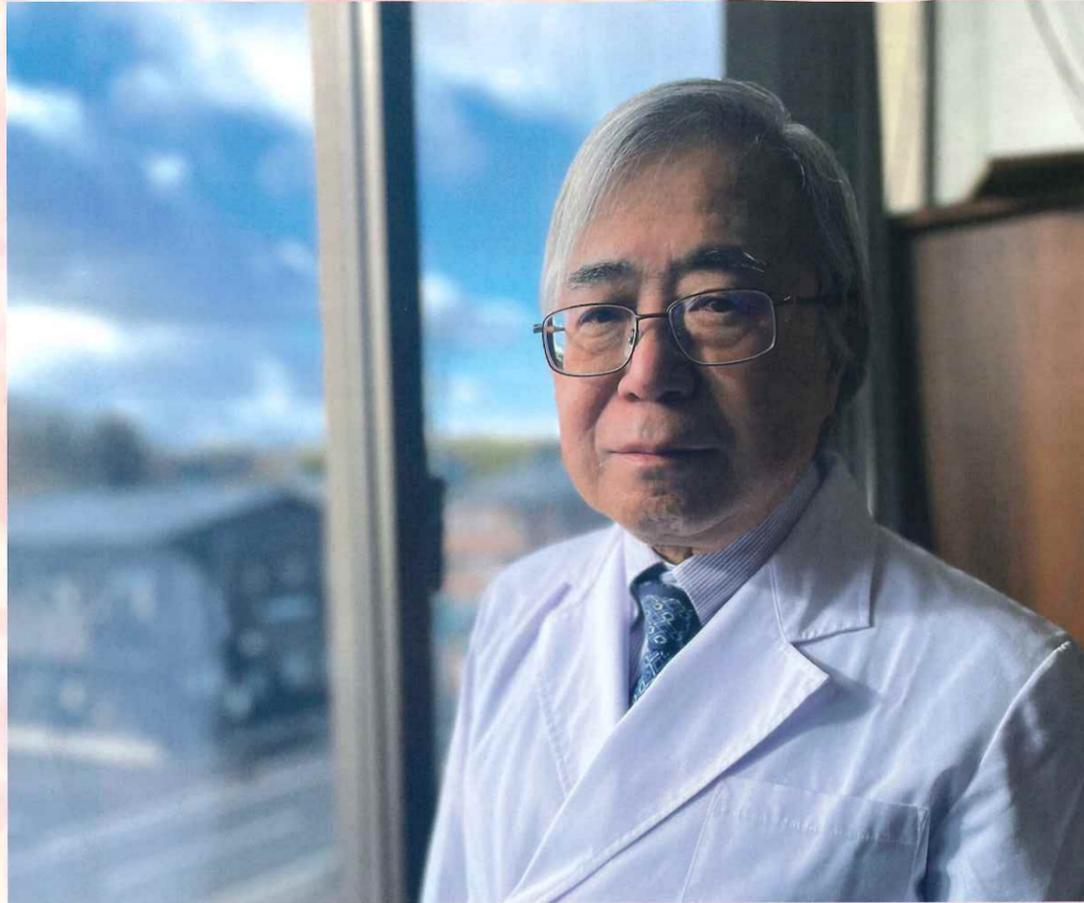
特集

01 | 院長・看護部長退任のご挨拶

02 | 知ってください!訪問看護ステーションのこと

退任のご挨拶

院長
六角
裕一



待ちに待った春到来です。皆様はお元気でお過ごしのことと存じます。

さて、私事ですが、このたび令和6年3月31日付けをもちまして二本松病院の院長を退任することになりました。

平成26年に社会保険病院から地域医療機能推進機構二本松病院になったときに院長を拝命しましたので、それから10年たちました。その10年の間何とか仕事をしてこれたのは、副院長の柳沼先生をはじめとして、多くの職員、そしてこの地域のみなさまに支えられてきたためと考えております。本当にお世話になりました。深く感謝いたします。

院長になった当初は当院の常勤医師は6人でした。この人数で本当に病院を維持できるのか、仕事をやっていけるのかと心配してくれる方もいらっしゃいました。私としては何とか常勤医師の派遣を福島医大にお願いし、地域のみなさまに安全、安心な医療を提供したいと思ってきましたが、常勤医師の当院への派遣までは至りませんでした。しかし職員がみんな力で合わせてこの地域のために働くことができたのは、本当に幸せなことだったと思っております。

4月からは鈴木 眞一新院長が着任します。患者さんが大病院でのより高度な医療、専門的な医療を望んでいるときに、160床の中小病院がどのような働き方をするかはいろいろ考えていかなければなりませんし、まだまだ困難な状況が続くことが予想されます。しかし、新院長と職員が一丸となって、

この難局を乗り越えてくれることを期待しております。そして、この地域の皆様には今後ともこの病院のご支援をよろしくお願いたします。



看護部長
鈴木
佐紀



このたび石川県能登地方で発生した大規模な地震により犠牲となられた方々に、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、この災害から過去の大震災や台風による豪雨洪水被害等を想起され辛い方もおられることでしょう。私たちJCHO二本松職員はプロとして、こうした地域住民の方々の心に寄り添い尽力してまいります。

さて、このような時に私事ではありますが、退任のあいさつをさせていただきます。

「今は昔、気候良く住み良い二本松の地にジェイコと言う城があった。その城に在し城主は、明君六角。その家臣は皆それを慕い、真面目に勤めに励んでおった。そこへ、カンゴのブチョウと言うものが仕官してきた。流れ者であった其奴を皆は嫌がることなく招き入れ、其奴のする事を温かく見守った。カンゴのブチョウは二本松の地に強く所縁を感じ、また、家臣たちの温情に感激し、長らく腰を据えんと真面目に勤めに励んだ。折しも新しき感染症に、その地の人々が侵され、その命を助けんと皆で精を出し、病を成敗いせんと種痘を何日も何人にも行った。己らの生業も成り立たぬ中、忠義の心で汗を流した。カンゴのブチョウと言う流れ者、皆に支えられ業を全うし、約束の期日が来たと、人知れず涙し手を振り、はるか故郷に帰って行った。おしまい。」

この4年間、平時とは言えない混沌とした毎日を二本松病院の皆様を支えられ勤め上げることができました。この言葉はお世辞ではありません。JCHOの令和5年度職員調査で、「職員が一丸となっている病院」「職員の意識が高い病院」全国一位に輝いたことから分かります。結果を知った時は大変嬉しかった。忘れられない出来事でした。

最後に 皆様方のご健康とご多幸を心からお祈りいたしますとともに、この地に置いていただきましたことに心より感謝申し上げます。



定年退職者のご挨拶



診療放射線技師長 川名 豊

9年間お世話になりました。仙台から単身赴任50歳で初めての一人暮らし、家事を一切やってこなかった私に二本松の方々は美味しいお店やごみの捨て方を丁寧に教えてくれました。本当にありがとうございました。裏町お祭りとコロナ生活、二本松はほぼ第二の故郷です。里帰りする時はよろしくお願いします。



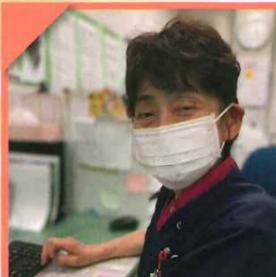
臨床検査技師 紺野 久美子

この度、定年退職を迎えることとなりました。職員の皆様お世話になりました。社会保険病院からJCHO病院への移行はありましたが、二本松病院一筋！勤務できたことに感謝しかありません。ありがとうございました。



看護師 手術室 佐藤 ヨシ子

私のところにも定年がやってきました。人間関係に悩み、辛くてトイレで泣き続けたこともありますが、ある先輩が心に寄り添ってくれたから乗り越えてこれました。今は楽しいことばかりです。ありがとうございました。



看護師 3階病棟 菅野 美幸

S60年4月、当院に就職し、39年間、定年まで勤める事が出来ました。色々な事がありました。辞めたい、挫けそうになる事もありましたが、家族や、周囲の皆様に助けられ、ここまで来る事が出来ました。感謝の気持ちで一杯です。本当に有り難う御座いました。



看護師 4階病棟 前野 フミ子

2015年11月に入職後コロナ感染症の波が押し寄せ、院内スタッフが一丸となり大粒の汗を流しメンタルコントロールしながら対応したことは忘れられない出来事です。また地域医療に携わることができたのも貴重な経験となりました。皆様には今日まであたたかく見守っていただき、感謝の想いでおります。



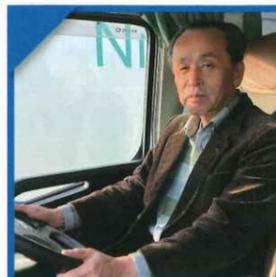
看護師 5階病棟 野内 由美子

この度、定年を迎える事となりました。これまで勤めてこられたのもひとえに、関わっていただいたスタッフの方々の支えがあったからと感じております。特に病棟の皆様には面倒をみていただき感謝しております。お世話になりました。



看護師 老健 大槻 かおり

生まれ育った鹿児島→青春時代を過ごした神奈川→御縁があって福島と生活してきました。そしてこの度26年間お世話になった二本松老健で定年退職を迎えることができ、時の流れの早さに驚いております。介護の仕事は何も知らず飛び込んだ私を今まで支えて下さった皆様に感謝で一杯です。ありがとうございました。



運転手 高橋 富夫

平成元年三月、二本松病院に採用され健康管理センターに配属になりました。まもなく三十五年になります。業務上、健康管理センターの皆様、放射線室の皆様、検査室の皆様、看護師の皆様、病院内外の医師の方々には、特に朝早くから大変お世話になりました。怪我もなく病気もなく楽しく仕事させていただきまして感謝しています。

地域とともに

Topics

二本松一周駅伝競走大会に参加しました

昨年11月26日に開催された第12回二本松一周駅伝競走大会に参加しました。当日は爽やかな秋晴れで、24.9km全8区間を8名の選手が駆け抜けました。沿道は応援される方々で賑わっており、「がんばれー!」「あと少し!ラストスパート!」と、ランナーを後押しする声援が響いていました。二本松病院は全11チーム中8位と健闘。今後も大いに盛り上がりを見せた大会へ参加し、地域の活性化へ寄与したいと思います。



健康講話の出前講座を行いました

昨年12月4日にJA夢みなみ白河地区役員OB会の忘年会に赤岡理学療法士がお伺いし、「運動でフレイル予防と体の機能を向上させましょう」をテーマに講話しました。フレイル(虚弱)は介護要因の一つであり、特に80歳代より増加することや継続した運動により予防可能で、さらに認知症や転倒リスクを防ぐ効果があることをお伝えしました。参加した方々はメモを取ったりスライドを写真に収めたりと熱心に聴講していました。講話の後は座ったままできる体操を行い、終わる頃には皆さんいきいきとした表情で会場を後にしていました。



知って
ください!

訪問看護ステーションのこと

その1 訪問看護ステーションとは?

かかりつけ医の指示を受けた看護師等が病気や障害を持った方の生活場所であるご自宅等に伺い、その人らしい療養生活を送れるように支援するステーションです。介護・福祉・保健の他職種と連携し、情報を共有することで、より個別的な生活ができますようお手伝いしています。訪問リハビリも実施しています。

こんなサービスが受けられます

ご利用いただく方々の心身の状態や希望に応じて、かかりつけ医と連携し、様々な支援や調整を行います。

- ・身体状況や病状の観察、健康管理
- ・尿道カテーテルの管理や、経管栄養の管理
- ・医師の指示による点滴や注射
- ・在宅療養に関する相談や助言
- ・機能訓練
- ・お薬の管理
- ・床ずれや人工肛門などの管理
- ・ターミナルケアと看取り
- ・医療処置や医療機器の管理
- ・在宅リハビリテーション

その2 二本松病院の訪問看護ステーションは ここがすごい!

小児や精神疾患がある方も ご利用できます

当訪問看護ステーションでは小児から高齢者まで、年齢や疾患を問わず訪問看護を必要とする全ての方を対象としています。



看護師特定行為研修修了者が 活躍しています

通常、医師が行う行為の一部を特定行為研修修了看護師が実施できます。床ずれの壊死組織の除去や気管カニューレ交換、脱水症に対する点滴などを医師が作成した手順書に基づき看護師が自宅で行うことができます。



在宅での看取り経験が豊富です

「人生の最期を自宅で迎えたい」と望まれる方が増えています。当訪問看護ステーションではかかりつけ医と連携し、不安のないお看取りを支えています。



24時間対応体制

利用者の皆様が安心して療養生活を送れるよう時間外や休日でも訪問看護師に直接連絡ができる24時間連絡対応体制をとっており、緊急時の訪問も可能です。



規模の大きい訪問看護ステーションです

看護スタッフが10名以上在籍しており、急な依頼やスケジュール調整にも対応しています。



その3 もっと教えて!訪問看護ステーションのこと

Q1 二本松病院に通院していなくても訪問看護を利用できますか?

A かかりつけ医の指示があればどなたでも訪問看護をご利用できます。かかりつけ医は二本松病院以外でも利用可能です。

Q2 料金はいくらですか?

A (例)1時間の訪問看護を週に1回利用(月4回)。緊急対応希望ある場合。自己負担1割の場合 月4,000~5,000円

Q3 訪問してくれる範囲(地域)を教えてください。

A 訪問範囲は二本松市内、大玉村、本宮市、福島市松川町です。

Q4 利用したいときは誰に(どこに)相談したらいいですか?

A 当訪問看護ステーション、ケアマネージャー、かかりつけ医や受診している医療機関の相談員、地域包括支援センター、介護保険・障害福祉窓口にお声掛けください。

Q5 医療・介護相談だけでも受けられますか?

A ご相談だけでも可能です。地域の医療機関、訪問看護ステーション、住民等へ対する情報提供又は相談を無料で行っています。些細なことでもぜひご相談ください。

お問い合わせ先

◆二本松病院附属訪問看護ステーション ◆訪問リハビリテーション

TEL(直通)0243-22-6266

または二本松病院へ(TEL0243-23-1231)
営業日:月曜日~金曜日(年末年始、祝日は除く)
営業時間:8時30分~17時15分

※ただし、緊急時は時間外でも対応いたします。



文;訪問看護ステーション 看護師 石川淑子

第8回JCHO地域医療総合医学学会に参加しました

12月8日、9日に三重県津市で開催された
第8回JCHO地域医療総合医学学会に参加しました。



発表を終えて



今回、当院附属介護施設通所リハビリの利用者を対象にコロナ禍の3年間の体力と認知能力を追跡調査した結果、継続して通ってきた方は体力、認知能力共に維持されていることがわかりました。当施設通所リハビリの特徴として、30分間2回の体操、個別リハビリ、飽きないレクリエーション活動があります。今回の研究から、多くの方に通いの場での運動と交流は高齢者にとって重要であることを伝えられればと思います。

理学療法士 赤岡 智行



伊勢神宮がある三重県で開催されたJCHO学会に参加して、各施設の専門職が日々努力をし、JCHOグループ全体でさらに飛躍しようとしているのだと強く感じました。私は、経口摂取に問題がある患者への摂食援助について発表しました。座長から賞賛と励ましの言葉を受け、発表後は、他の病院の認知症看護認定看護師と意見交換が出来ました。認知症看護認定看護師と摂食嚥下障害看護認定看護師が関わり支援をしていることに感銘を受けたと言われ、嬉しく誇りに思いました。機会がありましたら、また参加したいと思います。

看護師 高橋 弘美

Pick Up

マンモグラフィ装置

当院のマンモグラフィ装置が新しくなりました。富士フィルムメディカル社の「AMURET Innovality」です。この装置はより細かい微小石灰化の描出が可能で、従来の鮮明な画像のまま被ばく線量を低くすることができます。緊張を和らげるあたたかみのある間接照明のある装置に加え、部屋も明るくきれいになりました。

常に女性技師が撮影を担当しております。リラックスして撮影ができるようスタッフ一同心がけております。

診療放射線技師 佐藤 祥子



〈編集後記〉

あゆみ春号をご覧いただきありがとうございました。あっという間に新年度を迎えることとなり、時の早さに驚くばかりです。春は出会いと別れの季節と言いますが、何度春を迎えても別れは寂しいものだと実感しています。今まで出会った方との繋がりや感謝を胸に、これからの出会いも大切にしていけたらと思います。

JCHO二本松病院 福島県二本松市成田町1-553

TEL.0243-23-1231 FAX.0243-23-5086

HP <http://nihonmatsu.jcho.go.jp>

発行者：あゆみ編集委員会